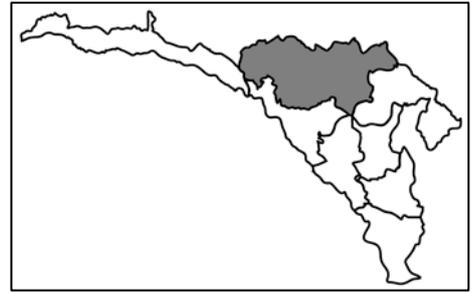


～小山田・小野路地域～

◇町目構成◇

上小山田町、下小山田町、小野路町、函師町、野津田町、真光寺町、真光寺



小山田・小野路地域は町田市北部に位置し、北側を多摩市や八王子市の多摩ニュータウンと接する地域です。地域のほぼ全域が丘陵地にあり、多摩市との境にある標高150m前後の尾根を最高に、起伏に富んだ複雑な地形が見られます。そのため多くの谷戸が点在しており、谷戸山と農地が一体となった谷戸の景観を形成しています。

①景観づくりのテーマ

1)水と緑豊かな自然環境に配慮した谷戸山景観の維持保全

丘陵地に残された豊かな緑や谷戸の景観、多様な生物の生息環境となっている鶴見川・真光寺川の水辺環境など貴重な自然環境に配慮し、農地の荒廃や不法投棄などにより、それらの魅力を損なわない景観の維持や回復に努め、自然環境に調和した景観づくりを進めます。

2)地域の歴史・文化資源を生かした魅力あふれる景観づくり

小野路宿通りや大泉寺など地域の歴史や文化を物語る貴重な資源を積極的にまちづくりに生かし、周辺の自然景観と調和した魅力あふれる景観づくりを進めます。

②景観づくりの作法

<地形>

◇起伏に富んだ丘陵地が織り成す眺め

小山田・小野路地域の起伏に富んだ地形によってつくられる様々な眺望が見られます。空間の開けた場所では尾根の稜線の随所で見られ、場所によっては大山・丹沢の山並みや、その向こうにそびえる富士山を望むこともできます。また河川や街道沿いからは、丘陵の稜線の緑が帯のように連なる姿を見ることもできます。

随所で見られる特徴的な眺望に配慮し、その眺めを多くの人が共有できる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

見通しのきく坂道・階段／高台にある公園・広場／芝溝街道などからの眺望



野津田付近の丘陵の尾根の稜線

<農や緑>

◇町田を代表する丘陵地の緑豊かな景観

小山田・小野路地域は市街化調整区域に指定されている地域が多く、それらを中心に丘陵地の樹林や、農地など、緑豊かな景観が広域に広がります。豊かな樹林や谷戸に形成された田畑などでは、緑豊かな田園風景が見られますが、近年、農地の放棄・荒廃、資材置



谷戸の景観

き場、残土・廃棄物の投棄などによって、良好な景観が脅かされる場所も見られます。

町田市の景観の財産である丘陵地の樹林や農地、及び谷戸を形成している豊かな緑を保全し、それらと一体となる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

農地／樹林／谷戸の田畑など

◇地域のシンボルとなるまとまりのある緑

地域内には、多くの公園や緑地があり、まとまった緑が確保されています。

まとまった緑を、町田市の景観のシンボルとして維持・保全し、それらを緑の拠点とし、周辺にも緑を広げます。

◆配慮すべき景観要素◆

小山田緑地／野津田公園／函師小野路歴史環境保全地域／七国山周辺／薬師池公園／真光寺公園／真光寺緑地など



小山田緑地

◇尾根緑道

尾根緑道には、桜やケヤキなどの木々が大きく育った並木道が続いています。春夏秋冬それぞれの季節を味わうことができる空間は、憩いの場として多くの市民に親しまれています。緑道からは南西方向に連なる大山・丹沢の山並みや、市街地を見渡すことができます。

尾根緑道の並木道の景観と尾根緑道から望む周囲の良好な眺望を維持・保全し、多くの人が眺望を楽しめる景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

尾根緑道

<まち並み>

◇谷戸や街道沿いの集落のまち並み

小山田・小野路地域では、農地や樹林の田園風景の間にくつろぎの住宅がまとまって建つ景観が多く見られます。中でも古くから生活が営まれてきた谷戸では、周辺の緑と一体となった集落の景観が見られます。また古くからある街道沿いには、歴史を感じさせる旧家の佇まいが残る場所が随所に見られます。

谷戸の集落では、周辺を包む緑の尾根を保全し、良好な自然環境に配慮した景観づくりを行います。また、芝溝街道など古くからある街道沿いでは、街道沿いの寺社や旧家などの景観資源を生かし、それらに配慮したまち並みづくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

谷戸の集落／街道沿いの寺社や旧家

◇小野路宿通りのまち並み

幕末まで宿場町として栄えた小野路宿通りでは、歴史ある建物や板塀のまち並みが良好に維持されており、宿場としてにぎわった往時の街道の雰囲気をしのかせる貴重な景観が受け継がれています。また、背景には丘陵の豊かな緑が広がります。

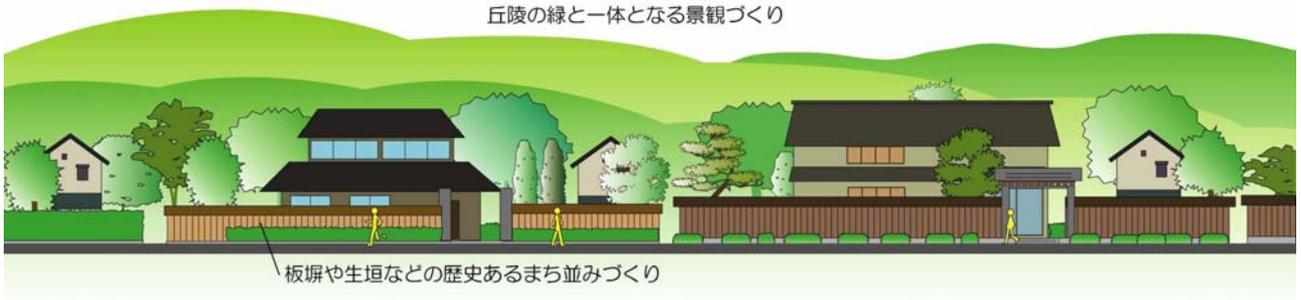
小野路宿通りでは、道路整備にあわせて、歴史あるまち並みの環境を保全・再生し、特徴を生かした景観づくりを行います。



小野路宿通り

◆配慮すべき景観要素◆

小野路宿通りとその周辺／板塀、せせらぎ水路、歴史のある建物／豊かな緑



◇丘陵地に広がる一体的に整備された住宅地

真光寺や上小山田町など一部の地域では、起伏のある斜面に一団の住宅地がつくられており、ゆとりのある敷地の戸建て住宅のまち並みを見ることができます。しかし、丘陵地を切り開き、谷戸を造成しながら開発が行われた地域では、尾根線の緑が分断されるなど、緑の減少や景観が急激に変化している地域もあります。

丘陵地の斜面に整備された住宅地では、元の地形を生かすとともに、周辺環境に配慮した良好な住宅地のまち並み景観をつくります。



真光寺の住宅地

◆配慮すべき景観要素◆

斜面地の住宅地

(真光寺／上小山田町／野津田町など)



<河川・水辺>

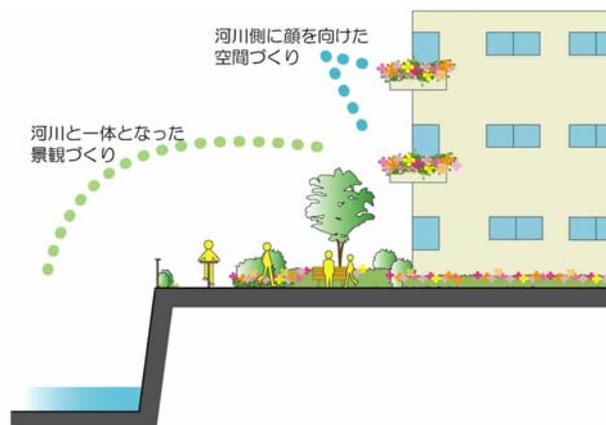
◇丘陵地の鶴見川、真光寺川沿いの景観

鶴見川や真光寺川及びその支流は、丘陵地の複雑な地形を縫うように流れています。上流に向かって川幅も狭くなり、川の流れの近くにまで丘陵の斜面の緑が間近に迫ることも多くなり、河川周辺との景観的な一体感も強くなります。

鶴見川や真光寺川及びその支流では、河川空間と周辺の環境が一体となったうらおいのある景観をつくります。

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川・真光寺川沿い



◇鶴見川源流の泉

小山田・小野路地域は、川崎市、横浜市をぬけて東京湾へと注ぐ鶴見川の源流地域です。上小山田町には鶴見川源流の泉があり、その周辺には、水辺環境と農の緑が調和した良好な環境をつくっています。

河川、湧水の周辺では、生物の生息環境にも配慮し、その良好な自然環境と調和した親しみのある景観づくりを行います。



鶴見川源流の泉

◆配慮すべき景観要素◆

鶴見川源流の泉／鶴見川／真光寺川／湧水池

<沿道>

◇鎌倉街道、芝溝街道、鶴川街道の景観

小山田・小野路地域には、鎌倉街道や鶴川街道、芝溝街道など古くから存在する道が多くあります。沿道には店舗等の建ち並ぶ地域がある一方で、神社や寺院が多く、歴史の深さを物語る地域もあります。また、新規整備や拡幅などが進められている道路では、沿道の景観が大きく変化している地域も見られます。

鎌倉街道、芝溝街道、鶴川街道の沿道では、周辺の住宅地の環境に十分配慮した景観づくりを行います。また、街道沿いの旧家など歴史のある街道の面影を維持・保全し、それらと調和した景観づくりを行います。

◆配慮が求められる場所や景観の要素◆

鎌倉街道／芝溝街道／鶴川街道／街道沿いの旧家や寺社など歴史のある街道の面影／隣接する周辺の住宅地

<歴史・文化>

◇七国山周辺などの自然と歴史が感じられる景観

小山田・小野路地域には、薬師堂、福王寺、旧荻野家住宅、旧永井家住宅がある薬師池公園や、小野路城址、一里塚、野津田神社、大泉寺、万松寺など、地域の歴史・文化を物語る景観が見られます。特に薬師池公園や野津田神社、鎌倉井戸などがある七国山周辺は、歴史的な面影を残す景観が数多く見られます。また地域内には多くの古道があり、歴史的な趣と豊かな自然が融合した景観が形成されています。

地域の歴史を物語る主要な寺社や文化財の周辺では、それらの資源に配慮し、周辺の緑の環境と一体となった景観づくりを行います。

◆配慮すべき景観要素◆

七国山周辺／大泉寺／万松寺／野津田神社など

